

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りをもち、**自分の意見をしっかりと語れる子ども**

取組目標

歴史・人・自然・もの・未来につなげ守ろう SDGs！

ふるさとに夢と誇りを持とう・故郷の良さを発見！ふるさとの文化をつないでいこう！

地域ぐるみで特産品を作ろう！ようこそ先輩！地域の人に学ぶ職業観！

【今年度の取組紹介】

今年度も感染症予防対策を講じながら、様々な活動を実施することができました。特に、「アルミ缶回収活動」は、地域の方々の手厚い協力のお陰で、27年間途切れることなく活動を続けることができています。この活動は、当時の中学校生徒会の呼びかけで始まりましたが、今では月ヶ瀬地区社会福祉協議会、ボランティア愛歩21、地域住民、学校が一つになり実施しています。今年、5台の福祉機器を寄贈することができ、これまでに寄贈した福祉機器は149台になりました。

また、烏梅を使った紅花染を月ヶ瀬ワーケーションルーム「onoono」（旧給食センター）にて実施しました。今年は参加希望者を募るとともに、当日は保護者や地域の方々の協力により、ワークショップ形式で行い、より多くの人に紅花染の良さを知ってもらうことができました。この活動には、大学生参画事業で活動してくれた奈良女子大生もスタッフとして参加し、子どもたちとも交流を深めてくれました。

その他にも、毎年恒例となっている、こ・小・中合同で行われている梅の実採りやその梅を使った梅干し作り、また、月ヶ瀬クリーン部隊の協力による環境美化活動等が開催され、いずれも子どもたちにとってはふるさと月ヶ瀬の良さを知る貴重な体験となりました。



㊦ 27年目を迎えた
「アルミ缶回収活動」



㊦ 「onoono」で行った
「烏梅で染めよう紅花染」

【今年度のまとめ】

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域と合同で行われる体育祭や文化祭は中止となりましたが、徐々に地域の方々と交流する場も復活してきました。大学生参画事業も2年目となり、学習支援だけでなく、月ヶ瀬の特色ある産業の体験活動や、来年度、本格的に始動する図書整備事業に向けての準備作業等にも積極的に参加していただき、児童生徒や地域の方と一緒に活動する機会を持つことができました。27年目となったアルミ缶回収活動では、多くの方々の協力のもと、これまでと同様の活動が行われ、福祉センター等に福祉機器を5台贈呈することができました。

【来年度に向けて】

月ヶ瀬中学校区では長年、地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。少子高齢化の進むへき地ではありますが、こども園・小中学校の子どもたちを地域ぐるみで育てる環境を今後も継続して構築していきたいと考えています。特に、ずっと関わっていただいているスタッフやボランティアの方々が高齢化している現状も踏まえ、新しい地域人材の発掘に努めるなど、今までの積み重ねを大切にしながら、取組を深化・発展させていきたいと考えています。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、**自分の意見をしっかりと語れる子ども**

取組目標

「ふるさとに夢と誇りを持とう」ふるさとの支援を受けながら、郷土愛を育て、ふるさとを守り、未来につないでいく生徒の育成

【今年度の取組紹介】

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらの活動も3年目となり、恒例となっていた活動も少しずつ戻ってきました。3年ぶりに開催した「人権講演会」では、講師先生を招聘し、性の多様性について講演していただきました。また、「ふるさとWalk」では地域の方をゲストティーチャーに迎え、プロジェクターに映し出された映像についてご説明いただきました。多くの方々とも子どもたちが直接交流できる機会が増えてきたことを、大変うれしく感じています。

また、長年にわたり継続している「地域花いっぱい運動」や「アルミ缶回収活動」は、地域の方々の多大な協力を得て、生徒数の減少にも関わらず、今年も例年通りの活動が実施できました。

そして、学習支援事業では、今年で3年目となる公民館学習の他、来年度から始まる図書整備事業の準備期間としてボランティアを募り、図書館司書の方にブッカーのかけ方やラベルの貼り方をレクチャーしていただきました。

今年も地域の方々の協力のお陰で、子どもたちは自分たちが暮らす地域をより深く知ると共に、人・こと・ものとのつながりの大切さを学ぶことができました。



嵩・月瀬、桃香野地区
「ふるさとWalk」

来年度からの始動に向け、図書ボランティアの方が準備を進めてくれました。



【今年度のまとめ】

今年度も、「ふるさとを発見」→「ふるさとの良さを発信」→「ふるさとの産業や文化の継承」へと思いを繋げる活動ができました。特に、本校の伝統でもある「アルミ缶回収活動」は、今年で27年目となりました。この活動は、地域ぐるみの活動として、福祉面や環境面など多方面からも高い評価をいただいております。生徒数も徐々に減少しており、地域の協力無しには継続が難しくなっていることから、活動を支えていただいていることに感謝しながら、これからも各取組を深化させていきたいと思っております。

【来年度に向けて】

子どもたちの放課後や休日の居場所として、月ヶ瀬ワーケーションルームの利用が増えてきていることを受け、これまで行ってきた公民館との連携だけでなく、他の社会施設も視野に入れた活動を模索していきたいと考えています。また、「ふるさとWalk」のように、今までのやり方にとらわれず、できることを追求しながら各取組を進めていきたいと思っております。来年度から、本格的に始動する図書整備事業に向け、ボランティアを募ったところ、多くの方に快く引き受けていただいたことに感謝いたします。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、 自分の意見をしっかりと語れる子ども

取組目標

月ヶ瀬の良さを体感するために、特産品やこの地域にしかない物作りの体験学習や地域に伝わる伝統芸能継承者の方から直に教えていただくことを通して、ふるさと月ヶ瀬をもっと好きになり、将来への夢に繋げる。

【今年度の取組紹介】

月ヶ瀬小学校で取り組んでいる地域学習は、地域の方々に支えられ、成り立っています。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分配慮しながら、3年ぶりに手もみ茶体験を実施することができました。これまでの活動対象であった3年生に加え、この2年間実施できていなかった4・5年生も一緒に手もみ茶体験をさせていただきました。

梅寿会との交流会やお話の会は、昨年の経験を生かしながら、それぞれの発達段階に合わせた内容を検討し、学年毎に活動を実施していただきました。恒例となっている伝統芸能の伝承は、保護者の世代から受け継がれている活動となっており、親子二代に渡って継続されていることの重みや地域の方々の熱い思いを感じながら、大切に継承していかなければならないと感じています。また、指導者の方々には、今年度もマスクをつけての発表や、開催日の急な変更等にも快くご対応いただき、発表会が成功裏に終えられたことに感謝します。

月ヶ瀬小学校の児童は、自分たちの暮らす地域の生活文化や習慣、産業、伝統文化に至るまで、幅広く月ヶ瀬を学んでいます。また、発達段階や教科・領域などの学習との関連も考慮しつつ、身近な月ヶ瀬を深く知ることで、児童には故郷を思う気持ちが育っています。小学校での地域学習のこうした学びは、中学校での学びにつながり、さらに発展、発信へと深化していきます。これからも自分たちの地域を見つめ、深めていく取組を続けていきたいと思えます。



☞
3年ぶりに行われた
「手もみ茶体験」

伝統芸能の伝承
狂言「附子」☞



【今年度のまとめ】

小学校では基礎基本の定着を図る学習活動を通して、しっかりとした礎を作ることが大切だと考えています。加えて、月ヶ瀬小学校では児童の発達段階に応じた地域学習の取組にも力を入れています。

児童は地域学習を通して、月ヶ瀬を深く知るだけでなく、人とつながることの大切さを知ったり、地域の方々の温かさに触れたり、コロナ禍の中であってもご支援いただいた方々への感謝の気持ちを持つことができました。ふるさと月ヶ瀬を誇りに思い、月ヶ瀬の伝統芸能や文化の伝承者として次の世代を担ってくれる人材の育成を目指し、これからも取組を続けていきたいと思えます。

【来年度に向けて】

地域の少子高齢化が進み、伝統芸能や生活文化の伝承が危ぶまれています。月ヶ瀬も例外ではありません。伝統芸能や生活文化を伝承する人材の確保が難しくなりつつあり、地域学習をどのように続けていくかについて、地域も学校も一緒に考えていく必要が出てきています。たいへん難しい課題ですが、児童にそれらを伝承していこうとする自覚や意欲が育つように、これからも取組を深化させていきたいと思えます。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見を**しっかりと語れる子ども**

取組目標

**地域とのつながりを大切にして地域に親しみ、伝統、産業に触れ興味
関心を持つ****【今年度の取組紹介】**

今年度は、夏野菜の苗植え、田植えから始まりました。地域の方に野菜の植え方や稲の植え方を教わりました。茶工場見学ではお茶の出来る様子を見せてもらいました。茶畑で茶摘み体験もしました。陶芸体験ではお茶会に使う湯飲みと菓子皿作りで陶芸粘土の塊からこねて形を作っていました。お茶会では、自分で作った湯飲みと皿で月ヶ瀬のお茶を頂きお菓子も食べました。手作り湯飲みと皿で頂くお茶とお菓子は美味しく嬉しそうでした。

敬老の日近くになると、福祉施設に手作りプレゼントを届けました。お話の会では、「だっこ」の方と、「108」の方2組に、大型絵本、大型紙芝居、エプロンシアターなど楽しく触れ合うことが出来ました。地域散歩では、龍王の滝を案内していただき、分かりやすく滝のお話を教えてもらいました。最後はしめ縄づくり、地域の方に藁を持ってきていただき一緒に作りました。

**【今年度のまとめ】**

野菜の苗植えからスタートし、お茶摘み・茶工場見学ができ、月ヶ瀬の特産物であるお茶に触れることが出来、茶摘みの機械に5歳児が載せてもらいました。お茶が出来る様子や、お茶摘みが出来たことでより一層地域を知る体験ができました。

陶芸体験、お茶会、お話の会、地域散歩、しめ縄づくりは、年齢に応じて楽しむことができました。地域の方と様々な体験を通して、地域の方の温かさを感じ、親しむことで地域を知ることにつながりました。

【来年度に向けて】

コロナ禍でもできることを、模索しながら感染対策をとり、地域の方と子ども達が元気で活動を続けられるようにしたいと思います。今年度体験したことを来年度につなげ、目標に向けて地域とのつながりを大切にしながら新しいことにも挑戦し、事業内容の充実のため検討し進めていきたいです。